

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2022年 2月 5日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」岡山高島校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		その都度スペースを調整している	
	②	職員の配置数は適切である	4			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	1	階段や段差があるパーテーションで区切っている	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4		毎朝掃除を行っている	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4		ブロック全体で把握している	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			改善点を必ず職員で把握している
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			HPにて公開
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	1	社内研修にて実施している	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		社内研修は月1回以上、ブロック内でも研修を実施している	管理者・中堅職員、指導員などのジャンル分けをした研修を検討中
適切な支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4		毎年実施している	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			

の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4		プログラム作成の際は必ず確認して作成している。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	4		毎朝朝礼時に共有している	プログラムを個人で抱え込まないよう事例検討会を実施している。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			忙しくなると固定化されてしまうため業務に余裕を持たせる。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	4		月1回ではあるが児発の小集団を実施している	今後も定期的に小集団の時間を作りたい
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		毎朝実施している	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4			
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		記録を書いてから次回のプログラムを作成している	細かい部分もメモ書きしている
	⑳	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4		半年に1回は必ず実施している。	支援計画が継続にならないよう達成できる目標を立てる必要がある
	関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4		主に管理者と担当指導員で参加している
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4			
㉓		（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2	2		現在医ケア児がおられない為今後利用された際に向けて検討が必要
㉔		（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）	2	2		現在医ケア児がおられない為今後利用された際に向けて検討が必要

	子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4		毎年訪問している。	保護者の許可が頂ければ参加の幅が広がると考えられる。
②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4		保護者からの意向があれば実施	学校側とも関係性の構築に課題があるが積極的に働きかけている。
②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	3		
②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		4		訪問はあるが一緒に活動することは現状行っていない。
②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	3	管理者が参加している	コロナ禍の為現在は自粛中
③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		フィードバック時に毎回話をしている。	
③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	2	2		ペアレントトレーニングの必要性は高まっている為研修会の必要がある。
③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		契約時に実施	
③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	3	4	支援計画の更新の際は必ず説明を行い気になる所も伺っている。	
③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		事業所内相談としても実施している。	
③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4		説明会を開いて保護者同士が繋がれるように配慮している。	今後も集団にて保護者会を行っていただけるよう検討中
③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、	4			

保護者への説明責任等

	相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している					
③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	1	ラインやブログで周知		
③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	4		鍵付き書庫を利用している		
③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	1			
④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	2	案内があれば保護者へ周知している		
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4		研修などで実施し保護者へもブログや掲示板で発信している。	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		毎月実施	固定化されている為パターンのバリエーションを増やしていく必要がある。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4			服薬はある程度理解しているが予防接種までは把握できていない。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	2	食事の提供は行っていない。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		回覧し周知している	ヒヤリハットと事故報告の区別をしていく必要がある。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		毎年虐待の法定研修を実施	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	1	説明、記載している。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2022年 2月 5日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」岡山高島校

保護者等数（児童数）： 12 回収数： 6 割合： 2.8 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	3	3				運動する際は外かスペースを広く確保し事故に配慮する。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	6					
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	1				児童に合わせてブースを設定している。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6					児童の特性に合わせてブースを設定している。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	6					アセスメント、モニタリングを実施。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	1				保護者と全職員で共有しながら実施している。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6					支援計画の作成は保護者と担当指導員の話を取り作成している。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	6					飽きないよう児童の好きな物を組み込みながら組んでいる。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	1	1			要望があれば行っているしな場合もこちらから声掛けし訪問している。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6					契約時に実施。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	5	1				毎回実施し要望があれば都度見直しをしている。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	2	2	1	1		フィードバック中に実施している。

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	4			2		朝礼で共有している。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5	1				フィードバック中に実施。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	2	1	1		月1回程度実施できるよう努めていきたいです。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	5	2				迅速に対応できるよ報連相と情報共有を朝礼時に実施している。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6					
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	6					HP、ブログ、lineなどで実施している。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	6					鍵付き書庫にて実施している。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	5	1				掲示ファイルにて閲覧できるようにしている。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3	1		2		月1回以上様々な状況を想定して実施している。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	5	1				楽しみながら療育に取り組めるよう今後も工夫していきます。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	6					満足していただける療育、対応が出来るよう努力していきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。